

研究課題名	スマートフォンで撮影した単純X線画像とAIを用いた椎体骨折診断のスクリーニングシステムの構築
研究期間	2026年3月12日～2027年12月31日
研究の対象	過去5年間に当院もしくは関連病院にて腰椎MRI、単純X線、骨密度検査(DXA)、CTを施行された方 症例群(新鮮骨折群):画像上新鮮な椎体脆弱性骨折を有する方 対照群(非骨折群):骨折を認めない脊椎変性疾患の方
研究の目的・方法	研究目的:本研究の目的は、スマートフォンで撮影した単純X線画像とAIを用いて、新鮮椎体骨折診断のスクリーニングシステムの構築することです。 研究方法:研究対象者の診療録(カルテ)内にあるデータ、画像情報を使用して、椎体骨折の有無を判断するAIツールを作成します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報:年齢、性別、病歴、画像検査結果等 情報の管理責任者:広島大学病院整形外科 准教授 中前稔生
利用または提供を開始する予定日	2026年3月12日(実施許可日以降)
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	既存試料・情報の提供機関より広島大学に情報を収集し、分析を行います。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院整形外科 准教授 中前稔生 既存試料・情報の提供機関 JA 広島総合病院 整形外科・副部長・角悠司 市立三次中央病院 整形外科・部長・森迫泰貴 霞クリニック 院長・北村直幸
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書

類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 整形外科

担当者：中前稔生

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5232